

踏切障害物検知装置(3D式・レーザー式)の設置100%を達成

～さらなる安全実現に向け、順次3D式センサーを増設していきます～

東急電鉄株式会社

当社は、ご利用のお客さまの安全・安心を追求する取り組みとして、2021年7月6日(火)に全踏切135か所(※1)に踏切障害物検知装置(3D式またはレーザー式)の設置100%を達成しました。

また、当社では2013年度より、従来のレーザー式センサーから、障害物の検知精度がより高い3D式センサーを使用した検知装置の導入を順次進めています。現在レーザー式センサーの検知装置が設置されている40カ所での置き換えを進めており、3D式センサーを使用した検知装置を100%設置すること目指しています。

「踏切障害物検知装置」は、自動車などが踏切で立ち往生した場合にセンサーが検知し、接近する列車の運転士に異常を知らせる信号を送る装置です。この装置を設置することによって、列車と自動車や人との接触事故を未然に防止する可能性が高まり、踏切の安全性の向上に繋がります。

なお、当社はこれまでも、全駅のバリアフリールート整備100%達成、大手民鉄初のホームドア・センサー付固定式ホーム柵の設置100%(※2)、当社保有車両への車内防犯カメラの設置100%などに取り組んできました。

今後も、ホーム・車内・踏切の安全対策を積極的に推進し、あらゆるお客さまにとって「安全」「安心」「快適」な鉄道サービスの提供を目指していきます。

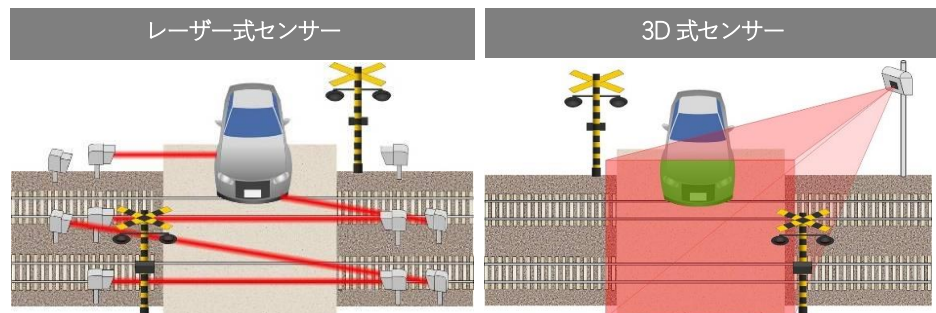
(※1)(※2)世田谷線・こどもの国線を除く

路線名	踏切数	3D式障害物検知装置	レーザー式障害物検知装置
東横線	22	15	7
目黒線	6	6	0
田園都市線	0	—	—
大井町線	32	16	16
東急多摩川線	24	16	8
池上線	51	42	9
計	135	95	40

▲踏切障害物検知装置設置数



▲3D式障害物検知装置



▲踏切障害物検知装置(左:レーザー式センサー、右:3D式センサー)

【別紙】

■そのほかの踏切の安全確保のための取組み

車や人が離れた位置からでも踏切を視認することができるように全ての踏切に警報灯を設置しています。さらに、一部の踏切にはドライバーからより見やすい位置に全方位の警報灯を導入しています。

また、警報灯同様、全踏切に非常ボタンと踏切監視カメラ(※3)を設置。緊急の場合に非常ボタンを押すことで特殊信号発光機が赤く点滅して列車の運転士に異常を知らせる他、東横線・目黒線・大井町線・こどもの国線では、ATC(列車制御装置)と連動しているため接近する列車が自動的に減速します。踏切監視カメラは、踏切事故の防止や事故発生時の状況確認の重要性が高まっていることから設置しています。

(※3)こどもの国線を除く



▲全方位警報灯



▲踏切監視カメラ



▲特殊信号発光機



▲非常ボタン

以 上